

平成29年度全国高等学校総合体育大会等の 優勝チーム・優勝者が表敬訪問



平成29年度全国高等学校総合体育大会「はばたけ世界へ 南東北総体2017」が南東北3県及び和歌山県で開催され、千葉県選手団は30競技に75校752名の選手が出場しました。

大会において、団体では、「サッカー男子」で流通経済大学附属柏高等学校、「体操女子団体」で東京学館高等学校、「レスリング男子」で日本体育大学柏高等学校、「少林寺拳法男子団体演武」で桜林高等学校が優勝しました。個人では「陸上競技男子やり投」で、千葉県立東葛飾高等学校の畦地選手、「陸上競技女子三段跳」で、千葉県立幕張総合高等学校の橋本選手、「体操男子平行棒」で、船橋市立船橋高等学校の杉本選手、「体操女子跳馬」で、東京学館高等学校の花島選手、「新体操女子個人総合、フープ、リボン」で、クラーク記念国際高等学校千葉キャンパスの柴山選手、「ボクシングバンタム級」で、習志野市立習志野高等学校の堤選手、「柔道男子60kg級」で、習志野市立習志野高等学校の市川選手、「レスリング男子50kg級と55kg級及び96kg級」で、日本体育大学柏高等学校の竹下選手、服部選手、白井選手、「競泳女子200m自由形」で、千葉商科大学附属高等学校の柏崎選手が優勝しました。

また、全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会において「団体男子ビームライフル」で千葉県立佐倉東高等学校、「個人ビームライフル立射60発」で千葉県立佐倉東高等学校の田中選手が優勝しました。

選手たちは学校関係者とともに、去る9月7日に県庁を訪れ、森田知事及び内藤教育長に優勝を報告しました。

千葉県高等学校体育連盟 山崎成夫会長が大会報告と謝意を述べるとともに、同連盟 齋藤隆作専務理事から優勝選手並びに学校関係者が紹介されました。森田知事からは「2020年、東京五輪に皆さんの中から一人でも多くの方が選手として参加できることを期待している。」と今後の更なる活躍を期待する言葉がありました。

そして、選手を代表して幕張総合高校 陸上競技部 橋本梨沙選手が、「優勝は選手だけでは成し遂げられない。先生や両親の支えのおかげ。今後、更なる高みを目指して頑張りたい。」と感謝の言葉を述べました。

[問合せ先：教育振興部体育課学校体育班 043-223-4108]